

幕末を代表するリーダー

# 西郷隆盛の人心掌握術

～なぜ多くの人々が西郷隆盛の周りに集まり、従ったのか～

リフレッシュコミュニケーションズ

吉田幸弘

# 講師プロフィール

## リーダーシップ・営業研修講師

### 吉田 幸弘

コミュニケーションデザイナー  
人材育成コンサルタント



成城大学卒業後、旅行代理店・学校法人・外資系専門商社・広告会社の4社にて営業及び営業マネージャーを経験。  
いずれの会社においても、入賞したものの、降格人事なども経験。

「エリートではない痛みのわかるマネージャー・営業マン」をモットーに、コーチング及び独自のコミュニケーションデザイン術をもとにした営業職・管理職の研修やコミュニケーションセミナーを実施。

著書に「誰でもすぐ使える雑談術」(さくら舎)、「西郷どん流 リーダーの流儀」(扶桑社)、「リーダーの一流、二流、三流」(明日香出版社)、「部下がきちんと動く リーダーの伝え方」(明日香出版社)、「部下のやる気を引き出す上司のちょっとした言い回し」(ダイヤモンド社)、「部下を育てる承認力を身につける本」(同文館出版)があります。

## ■メディア取材・出演実績■

NHK「おはよう日本」、THE21、日経ウーマン、ダイヤモンドオンライン、RKB毎日ラジオ、みずほ総合研究所経営参考ブック、企業と人材、人事マネジメント、ヤフーニュース、Big Tomorrow、週刊SPA、ナックファイブ、中部日本放送、ダイヤモンドホームセンターなど多数

# リーダー西郷の特徴

---

- ◆ **不要な威圧感を出さない**
- ◆ **感情のコントロールができた(冷静沈着)**
- ◆ **異分子を活かした**

# 留守政府では、肥前藩が活躍

---

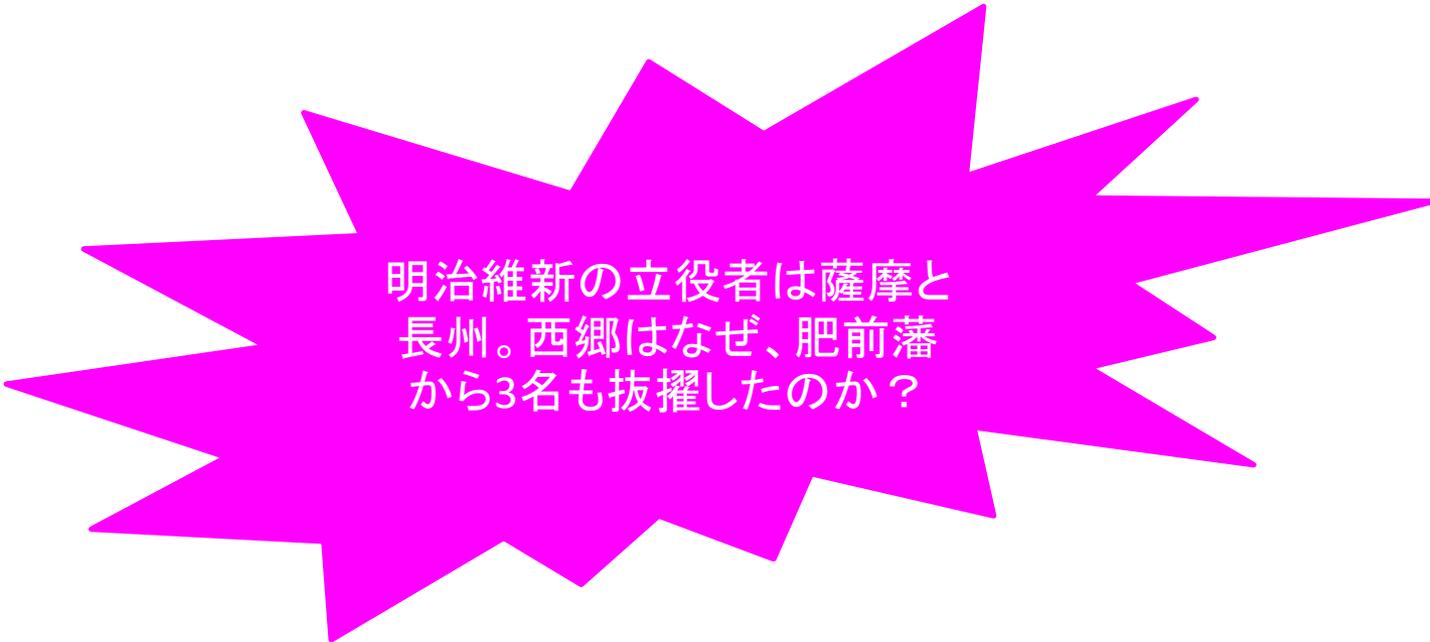
## ※西郷内閣の参議の構成

薩摩 1人

長州 1人

土佐 2人

肥前 3人



明治維新の立役者は薩摩と長州。西郷はなぜ、肥前藩から3名も抜擢したのか？

# 西郷は肥前藩の異分子を積極的に活用した

元々の肥前藩の参議は大隈重信1人であった

肥前藩の作ったアームストロング砲を使って、上野彰義隊の戦いに逆転勝利

江藤新平

法律に強かった。人身売買を厳禁とした法律を制定

大木喬任

学制を施行(国民の教育水準の向上を図った)

副島種臣

清国と対等な関係を築いた

# 感情のコントロール方法

---

# 感情のコントロール方法

---

- ◆ 怒りを紙に書き出す
- ◆ 一度席から離れる
- ◆ 自分の心を落ち着かせるグッズを用意しておく
- ◆ 自分が怒りやすい状況を分析し、回避する

# 自分が怒りやすいのはどんなケースかを知っておく

## 【時期】

どんな時？	理由
月曜日の朝	休み明けで対応が必要なメールや書類の量が多い
水曜日の14時～16時	取引先B社への週次報告書の作成の時間
金曜日の17時以降	週次の業務報告書の作成および翌週に仕事を残さないため
木曜日の午前中	早朝に経営会議が、部長に呼び出されることが多いため
11日～12日	締めが10日であり、入金チェックをしなくてはならないため
17日～18日	経営会議資料作成のため

## 【その他(誰に)】

- C君に→言った通りにしないので、つい怒ってしまう
- F君に→モチベーションが低く、行動力が落ちているため

# ゆるす力を持っていた西郷の特徴

---

- ◆ **高い視点を持ち合わせていた**
- ◆ **相手を不要に追い込まない**
- ◆ **失態をゆるすことで、部下を奮い立たせた**

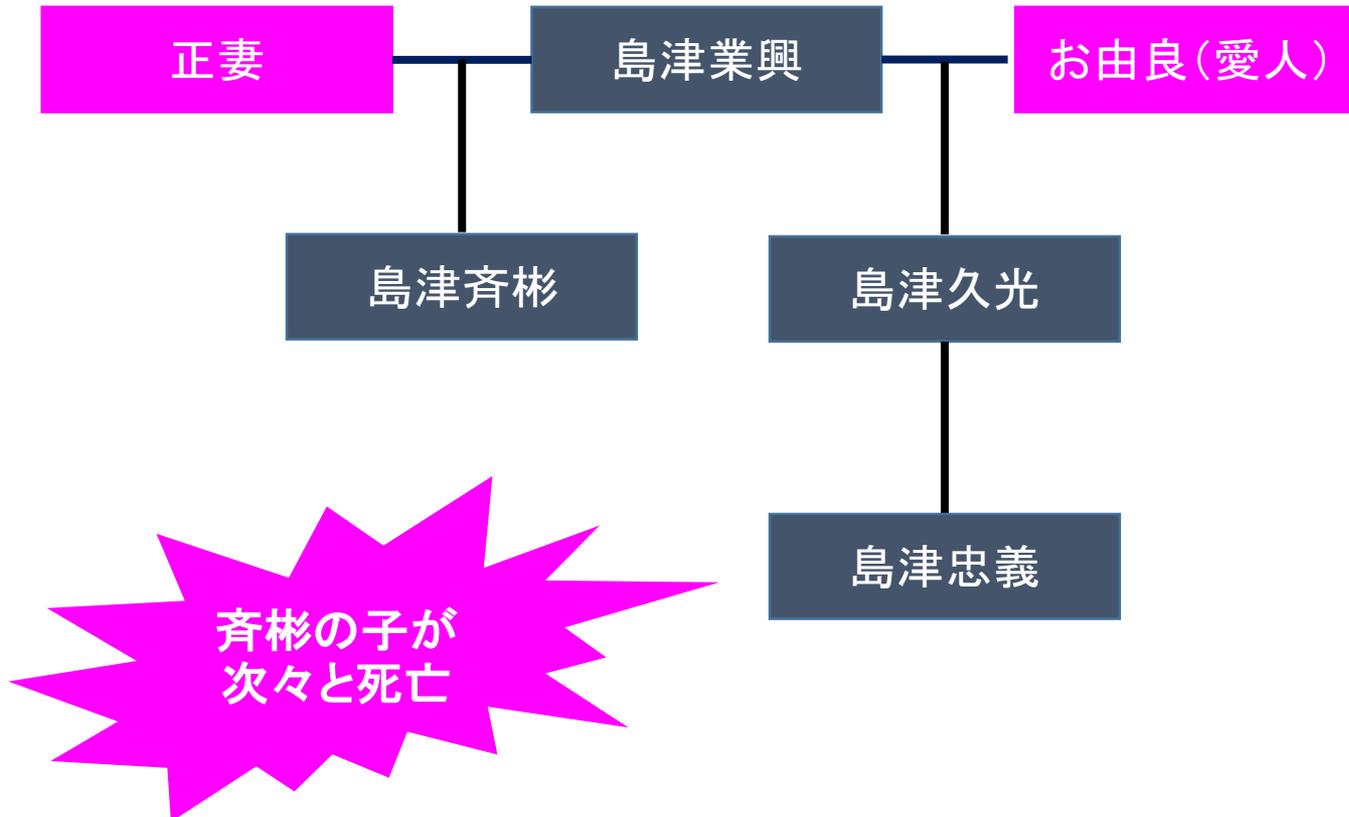
# 西郷がゆるした人たち

人物・藩	出来事	ゆるした内容・言葉	結果
庄内藩	①薩摩藩邸焼き打ち事件 ②戊辰戦争で大きく抵抗	①「切腹して詫びるなんてとんでもない！」  ②「貴藩は北国の雄藩。ロシアなどに備えて北方の守りをしてもらわなければいけません。武器はそのままお持ちいただければよか」	藩士70名が西郷のもとに留学。 「西郷南洲遺訓」を作るほどのファンに。
長州藩	1864年に長州征伐	三条実美ら五卿の罪をゆるし、長州の国力を削がないようにする	薩長同盟⇒倒幕へ
大村益次郎	①言葉が乱暴 ②欧米流の合理主義を身につけ、意見が対立 ③上野戦争で薩摩郡を最前線に	①「大村殿はそろばんで戦をなさるからこういうことになるのだ」と心の中で叫ぶが、黙って従う  大村を非難する薩摩メンバーをフォロー	上野戦争は1日で終了し、勝利へ
辺見十郎太	皇居が全焼した際、遊びに出ていた	②「若い者のすることだから、この度はゆるしてやりなさい」と処分せず	①鳥羽伏見の戦いでは隊長代理として勝利に貢献。 ②西南戦争では大幹部に

# 西郷の「ゆるす力」

---

ゆるすことの大切さは島津斉彬に教わった！



# 西郷に学ぶ強いチームづくり

---

◆部下が( )仕組みをつくる

◆ナンバー2に向いているのは( )

◆部下の( )を見つけ、( )する

# 西郷に学ぶ強いチームづくり

---

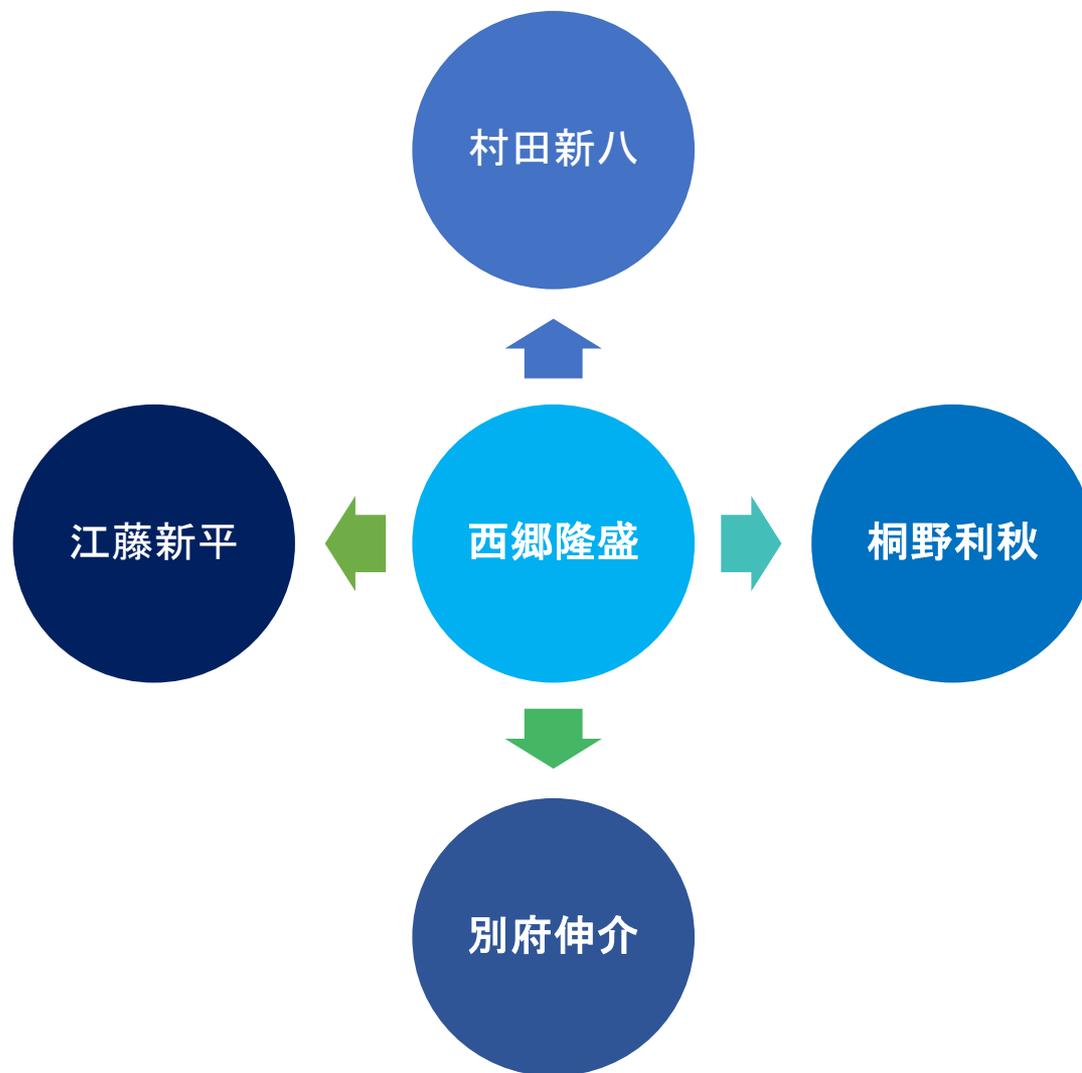
- ◆ 部下が部下を育てる仕組みをつくる
- ◆ ナンバー2に向いているのはリーダーにない能力を持つ人
- ◆ 部下の長所を見つけ、適材適所へ配置する

# 異分子を活かす（部下の長所を活用）

---

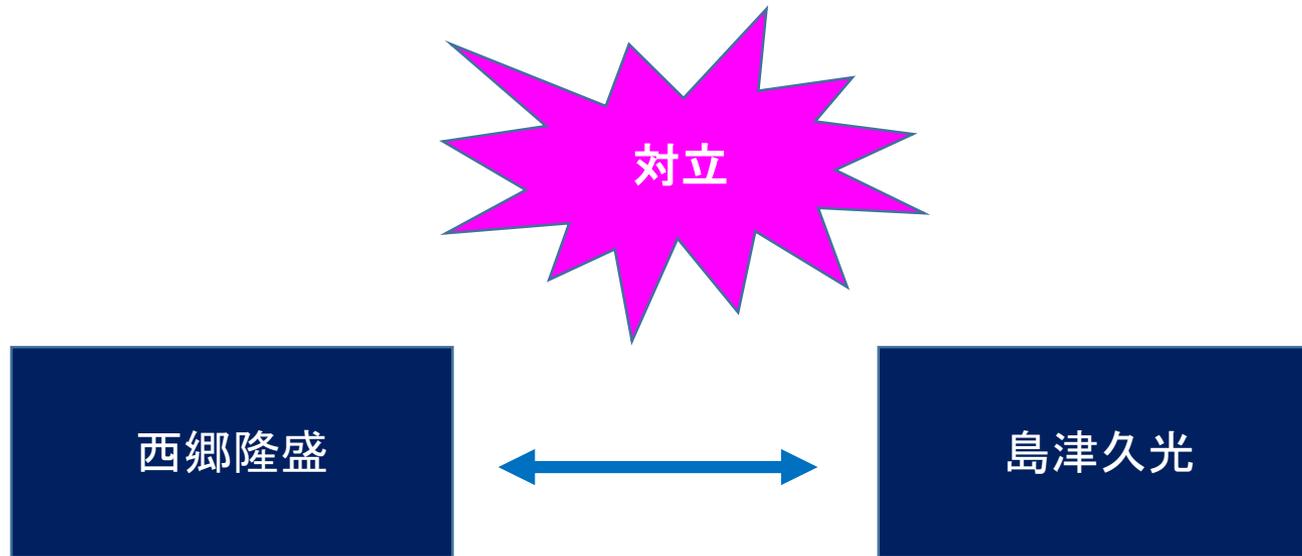
# 優秀なリーダーを生み出す上司力

---



# 対立関係の解消方法

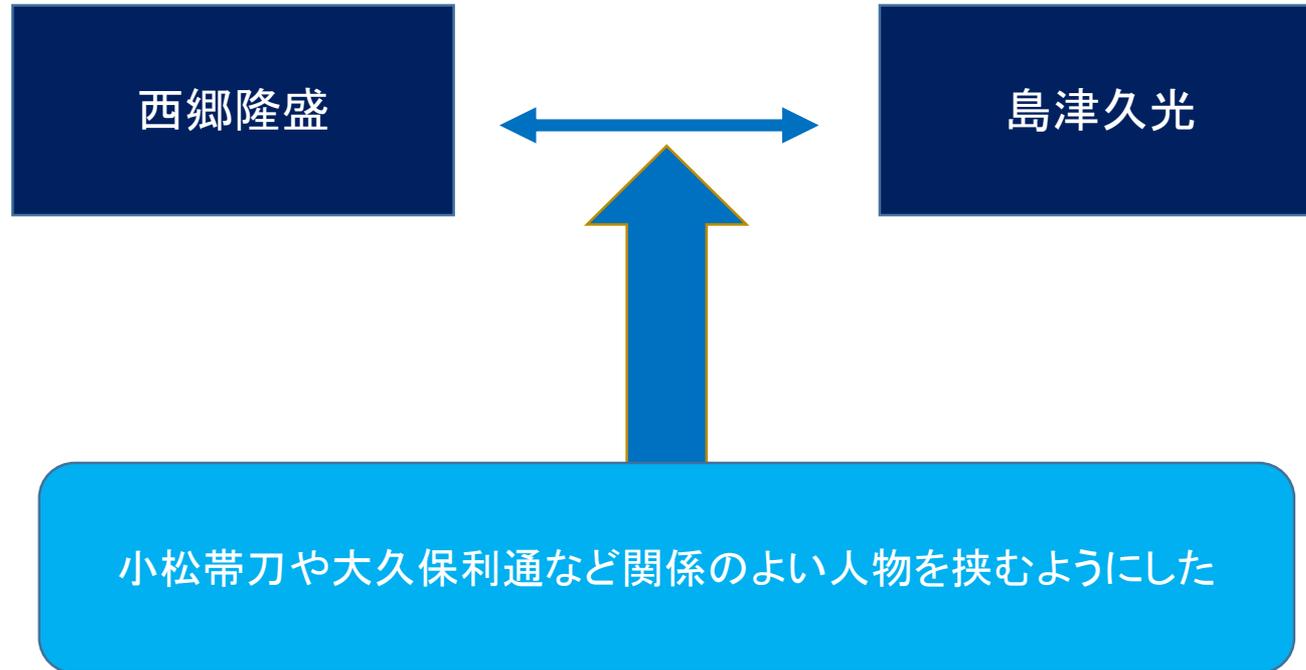
---



対立が要因で島流しへ  
西郷は、その後どのように対応したのでしょうか？

# 対立関係の解消方法

---



# 留守政府での西郷の振る舞いから学ぶこと

---

留守政府中に地租改正や学制、徴兵制などを施行し、大きな変革ができた理由

西郷が新政府から下野しなければならなくなった理由